

国際理解コースについて

※以下の内容は、令和7年7月1日現在のもので、今後変更する場合がありますので、ご了承ください。

- Q1 「国際理解コース」ではどのようなことを学び、将来はどのような進路を目指す人材を育てているのですか。
- A 「国際理解コース」では、英語による様々な学びを設定し、異文化理解を深め、実践的な活動を通して国際感覚を磨きます。将来は、国際系学部、語学、経済、法律系学部などへの大学進学を通して、国際感覚を持ったリーダーとして各所で活躍できる人材の育成を目指しています。
- Q2 「国際理解コース」の定員は何名ですか。
- A 「国際理解コース」の募集定員は40名です。本校の「国際理解コース」は、普通科の中にあるコースですので、普通科全体として一括で合格発表をしたあと、希望を取って所属コースを決定します。希望の取り方は合格発表後にお知らせします。どちらのコースにするか意思をしっかりと固めたうえでの受検をお願いします。
- Q3 コースによって合否の有利・不利はありますか。
- A Q21にある通り、合否を決定したあとに希望を取って所属コースを決定するため、合否の有利・不利は全くありません。
- Q4 「国際理解コース」では学力検査で英語の得点を高く（傾斜配点）設定しますか。
- A 傾斜配点はいりません。普通科として入試を行いますので、コースによる採点・配点の違いはありません。
- Q5 コースの決定は、いつわかりますか。
- A Q2にある通り、合格発表の後にコースについての希望を取り、その結果を3月下旬の合格者登校日に確認を取ることで確定となります。志望人数が多い場合、「国際理解コース」志望の合格者が「普通コース」になる場合があります。逆に「普通コース」を志望した生徒が、「国際理解コース」になることはありません。
- Q6 「国際理解コース」の授業内容の特色はどのようなところにありますか。
- A 「国際理解コース」では、英語多読、英作文やエッセイ作成、絵本の翻訳、小学校への出前英語講座、ポスターセッション、各種スピーチ、ディベートなどに積極的に取り組んでいます。また、オーストラリアの姉妹校のカレッジとの交流だけでなく、外国の高校生とのオンライン交流など、よりアクティブで実践的な内容を含んだ授業も行います。
- Q7 英語が得意でないと入れないでしょうか。英語が苦手だとしていけなくなりますか。
- A そのようなことはありません。英語の基礎学力は必要ですが、英語に興味・関心を持ち続けて授業に取り組むことができれば大丈夫です。また、語学学習のみではなく、グローバルな視野から環境、経済、社会に関わる人類の課題について、ローカルな視点で学習します。
- Q8 1年生で「国際理解コース」に所属する生徒は、2年生以降に分かれるコース選択（文系・理系）において、どのようになりますか。
- A 1年生で「国際理解コース」に所属した生徒は、2年生以降は卒業まで基本的にそのまま「国際理解コース」として持ち上がります。2年生以降の授業内容は、大学入試科目の関係から文系の大学への進学を想定しているため、「人文・社会型」と同じ文系の内容となります。
- Q9 1年生で「普通コース」であった生徒が、2年生以降に「国際理解コース」に進むことは可能ですか。
- A 入学の段階で「普通コース」を選択した場合、卒業まで「普通コース」となるため、「国際理解コース」に進むことはできません。
- Q10 理系の大学を希望する場合は、1年生では「普通コース」ですか。
- A Q27にある通りですが、入学前から理系の大学への進学を少しでも考えている場合には、入学時に「普通コース」を希望することを推奨します。
- Q11 海外帰国生徒選抜はありますか。
- A 本校では「海外帰国生徒選抜」を行っていません。
- Q12 「国際理解コース」に進めば海外に行けますか。
- A Q17で述べたように、隔年（令7、9、11）でシンガポール研修を実施しており、「国際理解コース」に進めば1・2年生のどちらかで、希望生徒全員が参加することができます。また、隔年（令6、8、10）実施のオーストラリア研修にも、希望して選抜されれば参加することができます。
- Q13 「国際理解コース」では英検、TOEICなどの外部検定試験について、どのような扱いとなっているのでしょうか。
- A 授業での検定試験対策は行っていないですが、高校2年生の時点で英検2級程度の語学力を身に付けることを目標にしています。外部検定試験には様々なものがありますが、積極的にチャレンジする生徒は多く、英検1級に合格する生徒もいます。
- Q14 「国際理解コース」と「普通コース」とでは、学校行事や部活動の参加に違いはありますか。
- A 「国際理解コース」では、実践的な英語力や異文化理解力を身に付けるためのアクティブな活動が校内外で行われます。また、コースに関係なく学校行事や部活動に参加できるように工夫しています。
- Q15 長期留学はできますか。
- A 1年間休学をして留学をするケースがあります。本校に在籍のまま1年間留学（交換留学他）する場合については、入学後に学校にご相談ください。